

## 音声ガイド：雲仙の街並み

町にある建物を見ると、ホテル、旅行者案内センター、交番、そして公衆トイレまでもが同じように白い壁と赤い屋根だ。人の目を引くこの様式は、西洋と日本の建築の調和によって生まれた。19世紀後半から20世紀初頭にかけて雲仙に建てられた旅館は、日本の他の地域で同時に建てられたほとんどの旅館とは異なる。

1853年に開港した後、日本は近代化を開始し、西洋から新しいアイデアを取り入れた。雲仙の最初のホテルは、19世紀後半のヨーロッパのリゾートタウンにアピールするように設計され、日本の大工たちが日本の建物にヨーロッパの活気を加えた。

スクリーンに写るのは、雲仙で最も古い旅館の様子だ。19世紀の終わりに元々の旅館の建物に廊下が増築されたのは、同じ時期に雲仙で休暇を楽しむ西洋人に印象付けるためだ。